




催眠のやり直し～私をあの頃に戻さないで～



## あらすじ

かつて集団催眠暴行事件で多くの女性が被害者となった。事件は解決されたが被害者達は心身共に深刻なダメージを受け、10年経った今でも苦しんでいる者も少なくない。

被害者の一人:星羅は長い時間をかけてその後遺症から立ち直り、長年支えてくれた木暮圭吾という青年と結ばれた。新婚生活は順調に続き、暗い記憶はこのまま過去のものになっていくはずだった。

ある日街角で出会ったのは、かつて自分に催眠をかけ徹底的に陵辱した男だった……。

「それじゃあ行ってくるよ。」  
今日から一週間ほど出張で家を空けることになる。  
妻の星羅と離れるのは寂しさもあったが、仕事だから仕方ない。

星羅。しばらく留守にする  
けど家のことは任せたよ

はい。任せられました。  
早く帰ってきてくださいね。

圭吾さん、忘れ物は  
ありませんか？



星羅は夫の巔目抜きでも美しく、穏やかな女性だ。彼女が来郎の肩から抜き取すまで長い時間をかけて僕と彼女は深い信頼関係を築くことができた。そうして一年前、僕たちは新たな生活を始めることになった。

もう……っ  
そういう意味で言ったわけ  
じゃ……私も愛してる。

忘れ物か……愛してるよ。



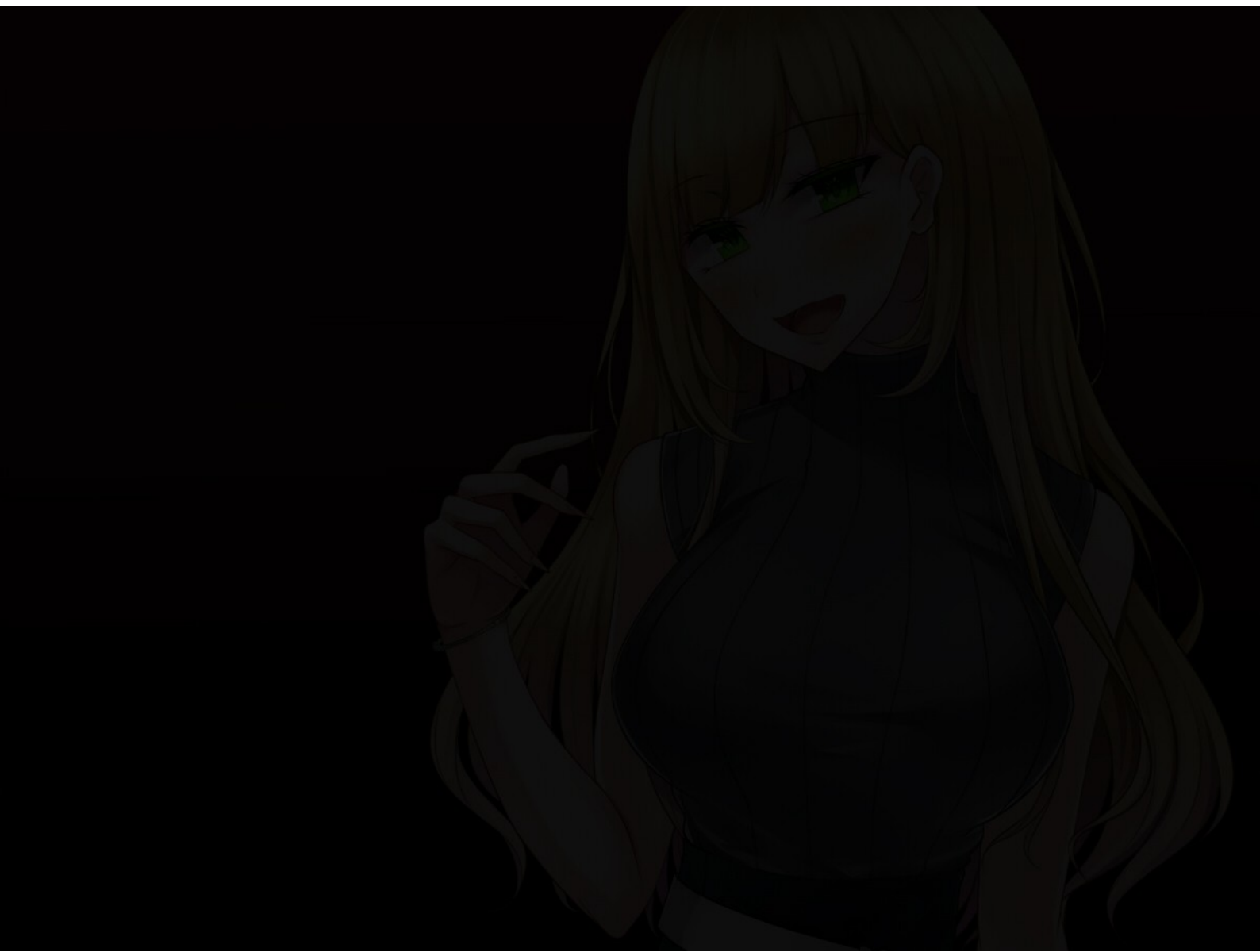
名残惜しいけれど行く時間だ。  
彼女とこれからも長い時間幸せに過ごすために  
も少しの間だけ我慢しよう。  
僕は玄関扉を閉め自宅を後にした。


いってらっしやい。  
圭吾さん。

行ってくるよ、星羅。










あの事件——集団催眠暴行事件から10年。  
身体も精神も人として尊厳も全部ぼろぼろに  
された私を長い間支えてくれたのが圭吾さん  
でした。

たくさんの女性が無理やり捻じ曲げられ  
ても質の淫らな変えられて、事件が  
後当時は私含め写真や動画が拡散され  
被害者は私含め全員後遺症を抱えて  
生きています。



私は圭吾さんに出会えて幸運だったと思います。  
多くの被害者は好奇の目に晒されて、未だに立ち  
直れない人も……。  
私は後遺症もかなり治ってきています。  
全部を知ってなお彼は私を受け入れてくれている。

……彼は行ったわ

早く用を済ませて  
出て行って……！！

圭吾さんがくれた幸せな時間。  
このままずっと続いてくれると思っていました。  
——あの男に会うまでは。



もう二度と見たくなかった。  
10年前私を辱め、特殊な手段で催眠をかけ徹底的に  
調教したあの男。  
主犯なのに捕まらず、名を変え再び私の前に現れた  
のはきっと偶然じゃありません。

おお、すっかり気が強くな  
って大人になったね

女子高生のときの  
星羅ちゃんはもつと  
従順だったのに

ふげけないで。  
あなたは罪を償わな  
きゃいけないわ……。

それが出来なかったから  
今俺と星羅ちゃんは話し  
てるんだろ？

街角で再会してしまったときから、この男を今度  
捕まえようと警察に相談したり動いていたけ  
れど何故かそのすべは無駄になって……。何か  
圭吾さんに頼ることはしたくなくて、1人で何とか  
しようとしたのに。  
そうして今日、あの男がやってきました。

……っ！  
目的は何……？

俺の目的なんて昔から  
1つしかないよ。  
分かるだろ？

相変わらず下衆ね……  
でももう、催眠状態にする  
手段はないわ。あの事件が  
発覚して全部世間に晒され  
のよ

そうだったなあ  
じゃあなんで星羅ちゃんは  
圭吾に相談しなかった？  
信頼できる唯一の人物にど  
うして真っ先に相談しなか  
ったんでしょうか？



『一生のお願い』だからさ、  
夫に迷惑はかけないでくれよ  
ってこの前俺が言ったの覚えて  
るかな？

う、そ………！  
私はもう克服してる……っ  
これは私の意思で！

完全に治療はできないって  
昔は『メス豚』とかまあ色々  
スイッチになるキーワード  
使ったけど、今は緊急時  
の強力なやつだからさあ

被害者は全員キーワードで催眠状態に陥る仕掛けに  
なっていました。この数年間でようやくその暗示も  
解かれていたと思ったのに……。  
懐かしいおぞましい感覚を自覚しました。  
これ以上この男と一緒にいたらまた……。

それでもかなり効果が薄い。  
まあ些細なお願……夫に  
迷惑かけるくらいなら、ね？



ははは、相変わらずちよろいな  
『一生のお願い』だからあの頃の  
調教を思い出してくれる？

っ！??♡  
この……っ♡  
いや、あんなの嫌……！

『一生のお願い』なんだ  
また俺に身体を触らせて  
くれよ 少していいからさ、

立て続けに『命令』が叩きつけられましたが、今までの  
治療のおかげか意識はまだ保っています。  
でも、男の『命令』は意識の隙間をつくような文言で、  
どんどんと私を追い詰めて行って……。

心を強く……っ  
負けちゃ、だめ……！

はは、意識は無理でも身体は  
すっかり催眠効いちゃって  
るなあ、じゃあ遠慮なく……



相変わらずいい身体  
してるなあ 圭吾とは  
やりまくってるんだろ？

うるさ……いっ♡  
圭吾さんのことも  
調べたの……っ？

さあね、ほら集中しろ  
乳首もうおっ立てて  
恥ずかしくねーのか

ひっ♡  
離して……っ！  
くっ♡

抵抗虚しく私は寢室に連れていかれ、身体を弄られて  
いました。  
僅かな抵抗はできますが、成人男性を引き剥がすだけ  
の力を出すことなんてできません。  
圭吾さんのことを引き合いに出され、私の心はどん  
どん動揺で脆くなっていきました。

しゅっ♡

しゅっ♡

高校のときより  
でかくなったか？  
俺が揉んでやった  
おかげだな

んっ♡違う……っ♡  
馬鹿なこと言わないで……！

圭吾も身体目当て  
で近づいたんじゃないかなーw

あなたに圭吾さんの  
何が……！あっ♡♡  
そこいじっちゃっ♡♡



動揺したら催眠が深く  
なる……っ♡  
平常心に……っ

強がっちゃって  
怒ってもいいんだよ？  
『一生のお願い』だから  
手マンさせてよ

ふっ♡

♡♡♡

♡♡♡  
♡♡♡  
♡♡♡

♡ix♡

っ!?!?♡だめ!  
お願いされても…あっ♡

びくっ♡

あはは  
身体はいいよーって  
力抜いちゃってるよ?

とろとろじゃん  
昔と変わってるか  
チエツクしてやるよ

嘘っ♡下半身に力が  
入らない……っ♡♡

やっ♡

あ♡

あっ♡♡  
ぬちっ♡

あっ♡♡

びくっ♡



身体をいくら従わせても  
もう昔みたいにはならな  
いから……っ♡  
ご愁傷、さま……っ♡ん♡

煽るじゃん  
そういうの逆効果だって  
また仕込んでやんねーとな

ひゅっ♡

ん♡

ん♡

ん♡

ひゅっ♡

ん♡



『一生のお願い』だから  
中イキして? 『メス豚』ちゃん

っはぁっ♡ふっ♡  
♡♡♡♡♡

っ!?!♡♡♡  
嫌っ♡♡うそっ♡  
あ♡♡違うううっ♡  
ちがっ♡イくっ♡♡♡

二重になるとキくだろ?  
中毒になっちまって壊れ  
たやつもいたよなあ  
宮村とか覚えてるか?

♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡



十分後

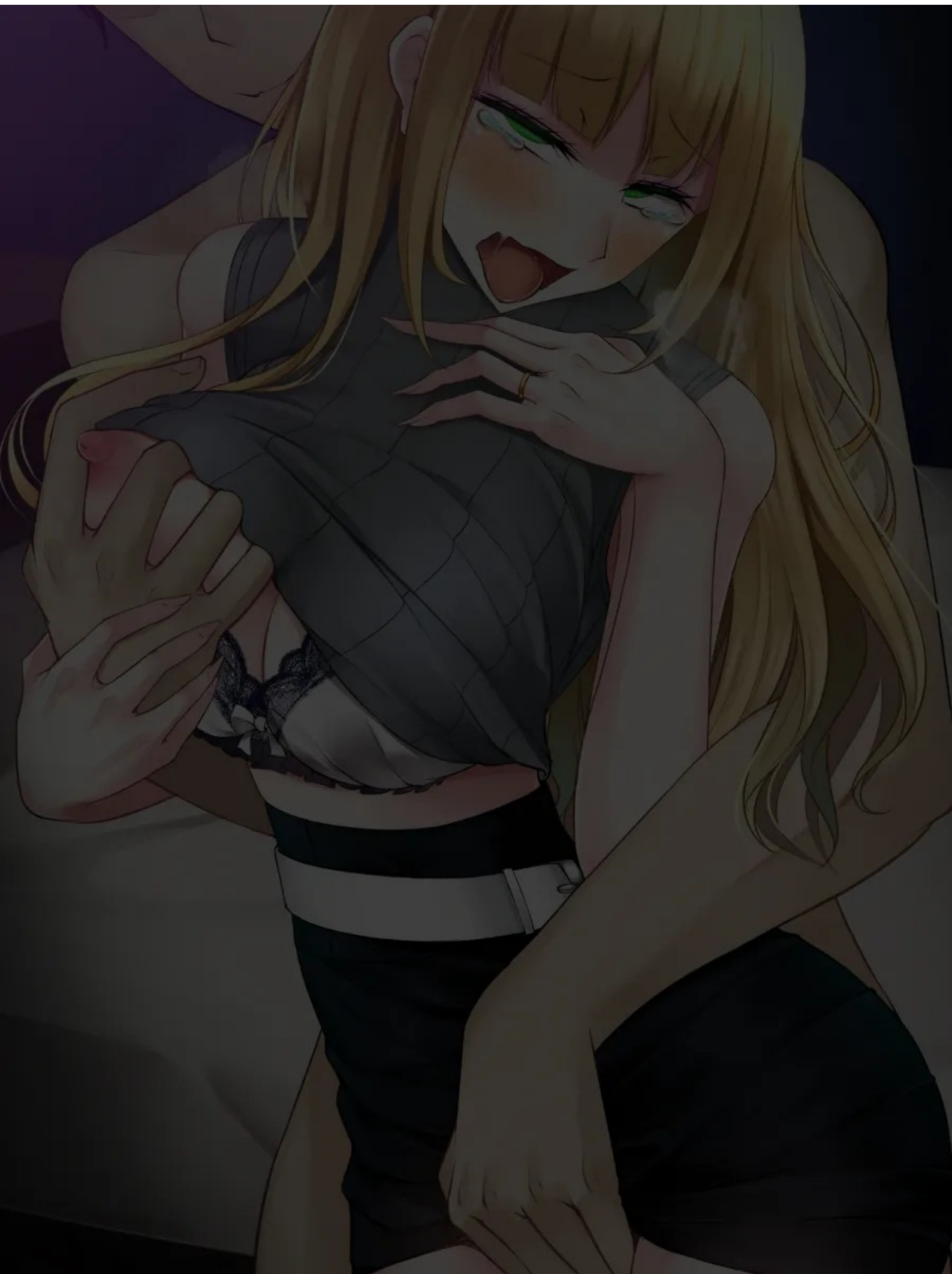
おっし、今の星羅ちゃんの弱いところ全部確認したわ。雑魚マンコに成り下がったねえ。

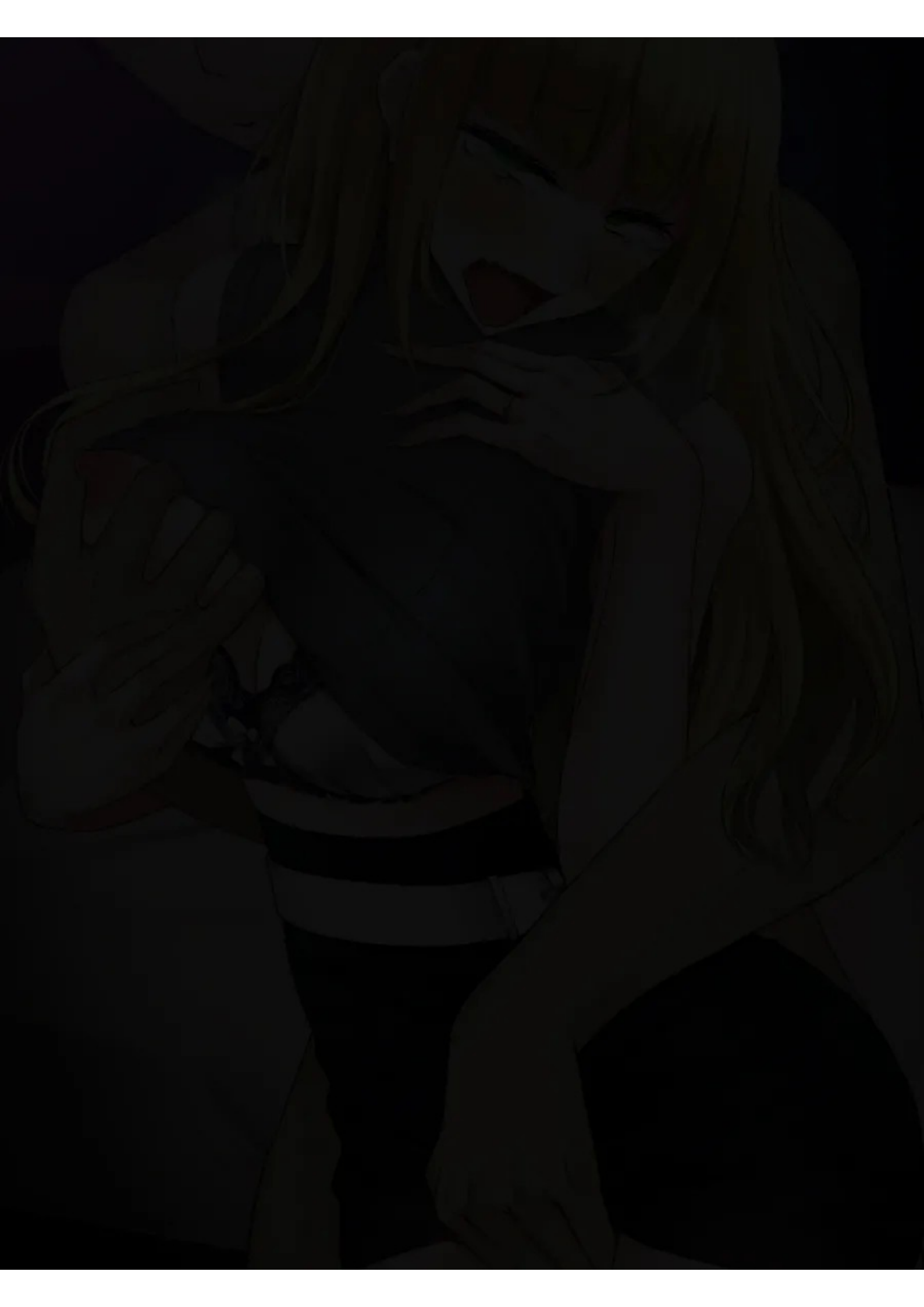
はーっ♡はーっ♡  
けい、ごさん……っ♡  
まけないから……♡

『一生のお願い』するよ  
自分から跨って騎乗位  
セックスさせて？

びぎ♡

私の弱いところをほぐされるように弄られ、膨らむように浮き彫りにされていました。絶頂をすればするほど次の絶頂までの時間は短くなっていき、『命令』への抵抗も難しくなっていきました。私も圭吾さんのことを考え強く意識を保ちました。







さ、自分からエッチに  
ちんぽをじゅぽじゅぽ  
ピストンしてよ

最低……っ♡  
ふっ♡ん……っ♡

そんなに股開いちゃって  
催眠なくてもチンポ欲し  
いんじゃない？w

ふっ♡

ふっ♡

じゅぽ♡

じゅぽ♡

でるでる♡

きゅ♡

きゅ♡

きゅ♡

きゅ♡

でるでる♡



んはっ♡ふっ♡  
止まっ♡てっ♡止まっ♡てえ！♡

言ってることやってること逆だよw ちやんと身体は正直にちんぽ欲しがるなわ？

絶対……いやあっ♡あっ♡♡♡  
入って……あああっ♡♡♡

あっ♡♡

あっ♡♡

びん♡

グッ

アッ♡  
♡  
♡





何？w怒ったの？  
おお怖っ………便器女の  
くせにまだ抵抗する気  
あるんだ

ふーっ♡ふーっ♡  
ゆるさない……っ♡  
取り消して……っ♡  
！♡

フーっ♡

フーっ♡

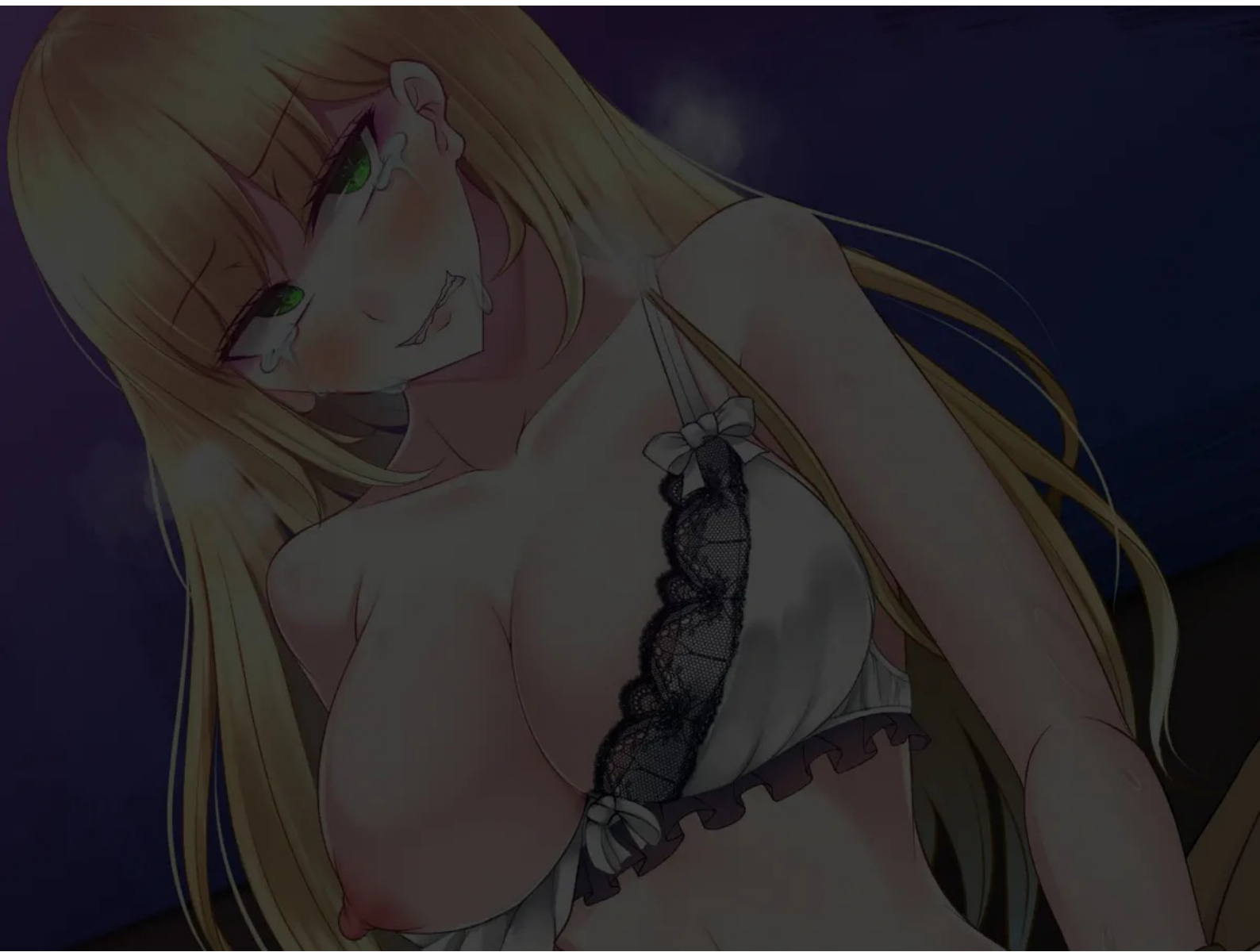
うるせーよ  
『一生のお願い』だから  
俺がいいというまでイカ  
ないでくれ  
……これ好きだっただろ？

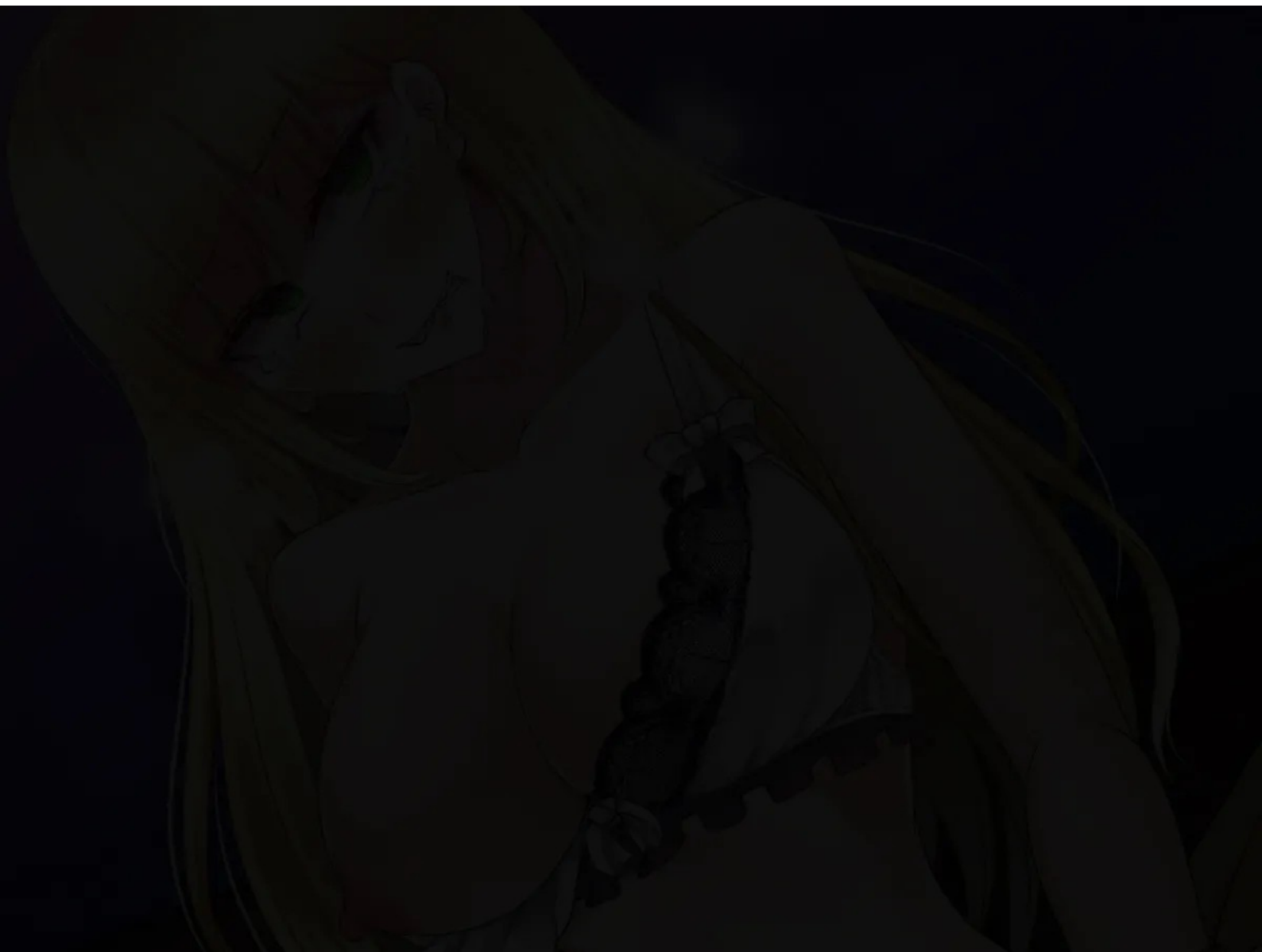
♡♡♡♡

♡♡♡♡

♡♡♡♡

キゅ♡





何度目かの絶頂……のはずがそれが来ません。思考を  
快感だけかけると、絶頂な男の絶頂……の下腹は焼い様を期待  
チリチリと禁止された私は無様に腰を上下させられていました。

数十分後

お、今いきそうだった？  
ペースはえーぞ肉便器w

腰使いに熟入っちゃって  
自分でもわかってるか？w

たぬ♡

あぁ♡

『一生のお願い』だから  
今どうしたいか本心を  
打ち明けてくれよー

あ……ああ……っ♡  
いいやっ！♡私、は……っ♡



イケない地獄で私の心に綻びが生まれていました。  
そこにだされた『命令』は無慈悲に私の心に入ってきます。  
あっけなく、本心……を吐き出してしまった私を見た男は  
満面の笑みで告げます。

あ、く……♡  
い、イきた、い……♡  
イかせて……♡♡♡

っ！？ちがっ♡  
違うの！今のは……♡  
ひあっ♡♡♡

中だめ♡

ちがっ♡

今のは……♡

正直物はいいい子だから  
たっぷり白いどろどろ  
な精子もあげようか？  
ほら、強く握れ！

あひっ！？♡  
だめ！抜いてっ！？♡♡  
膣は駄目えええ！！♡♡♡

抜いてっ♡



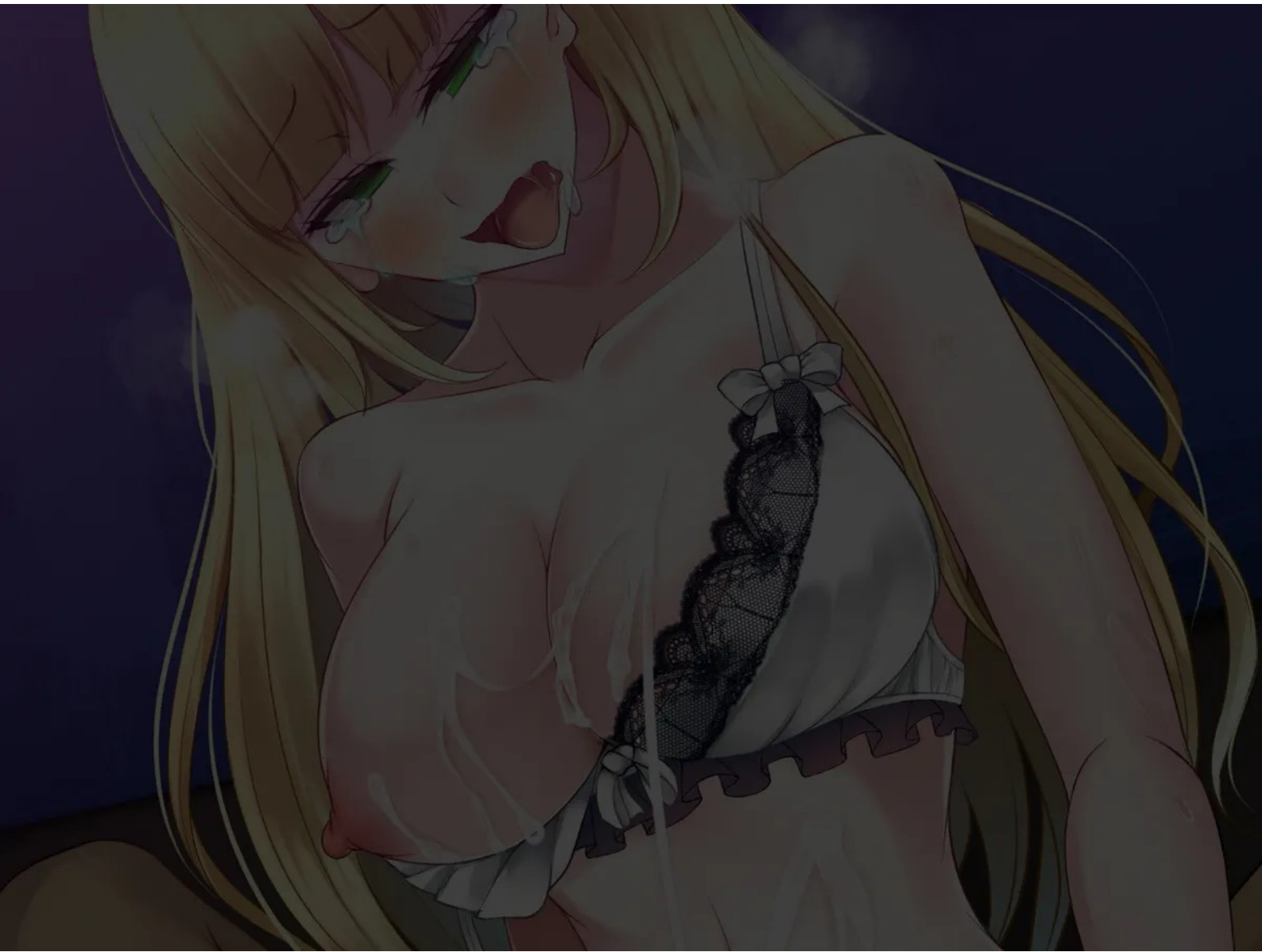


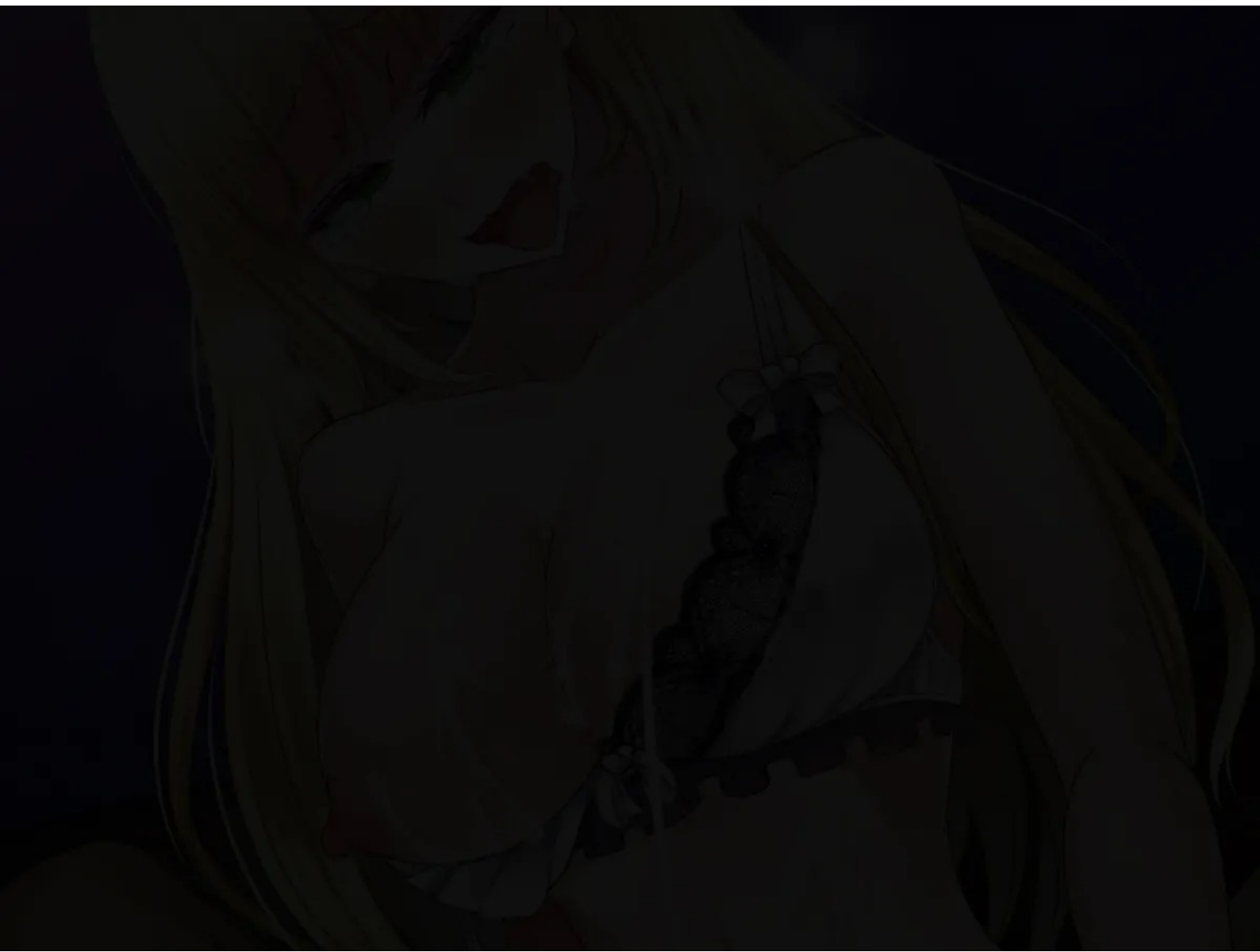
一度は逃げられた中への射精。男は楽しそうに笑みを浮かべ、ゴムを取り出しました。その後、たっぷり時間をかけてゴムありセックスで何度も何度も抱かれ次第に完全に身体を自分の意思で動かさなくなって……。

そんなに中出しが嫌なら仕方ない。ゴムありならその馬鹿力も出せないだろう？

時間はたっぷりあるしゆっくり屈服させてあの頃に戻してやるよ……













お願いしますっ♡  
抜いてっ♡抜いてくださっ♡  
話聞いて♡聞いてくださっ♡♡

頼み方がなってねーな  
敬語!!!

むりっ♡おしりむりっ♡♡  
抜いてっ♡お願いっ♡♡

だめっ♡

あゝ♡

あゝあゝあゝ!?!♡♡♡  
だめえええええ!♡♡♡

おろそきっつ  
久しぶりにケツファック  
もたまねーわ

ごりごりとお尻の穴が太くて熱いモノで広げられ、意思に反してそれを  
呑えこんでいきます。痛みと苦しみが最初に来て情けなく、10年前と同  
じように泣き叫びました。でもすぐに身体はそこに快樂を見つけだして私の意識を気持ちよさで  
染め上げようとしてきます。



圭吾さんごめんなさい……私、全然立ち直ってない……♡

昔に戻りたくないっ♡  
どんどん戻ってる♡♡  
このままじゃ……あれもっ♡

助け、て……♡  
圭吾さん、助けて……っ♡  
戻りたくない♡♡

ぬちゅっ♡



ほら『メス豚』!  
イクの我慢すんな!!!  
くそが!

あっ♡イクっ♡♡  
イクますっ♡我慢しませんっ♡  
イクイクイクイクっ♡♡

何して!?!♡  
いやあ!?!♡?♡  
見ないで!♡♡♡ひどい!?!♡  
ひぎっ!?!♡♡♡♡♡

そろそろイキそうだろ?  
子宮降りてくるか見てや  
るよw

見ないで♡♡

あ♡♡

キ♡♡

ま♡♡

ほ♡♡

ン♡♡



ガチイキ最高だろ？  
見覚えある顔になって  
きたわ

清楚ぶった貞淑な妻とか  
似合わねーんだよ肉便器  
お前は俺のおもちゃなん  
だからさっさと墮ちろ

おー唇が膣で動いて  
精子ほしいよーって  
してるぞ？w



さあ汚れたチンポは  
どうするんだ??  
おい!『メス豚』!返事!!

ひいっ♡はいっ♡  
怒鳴らないでっ♡  
分かりましたから……っ♡

ふーっ♡はっ♡ひぎっ♡  
なに、して……っ♡♡♡♡

精子こぼさねーように  
蓋だよ蓋 今日一日そ  
れで過ごして思い出せ  
お前が便器だっことをよ

男は徹底的に私のお尻を調教し直し、昔へと戻していきました。  
暴力的な言葉遣いは私に過去の恐怖を思い出させ、男にされた数々の  
責め苦をフラッシュバックさせます。  
責め苦をフラッシュバックさせます。  
男は自然に男の機嫌を損なわないような態度を取るよう  
にさせられていました。



お前のそのでかい胸  
ちんぽ拭きにびったり  
だわ

従順にしていれば、  
『命令』される頻度も  
少なくなるはず……っ♡  
耐えなきゃ……

はい……っ♡  
そうですね……♡♡♡

すっ♡  
ちゅっ♡

おっ♡  
っ♡

私が従いはじめると男は調子にのってきたのか  
跨って胸でペニスをしごきはじめました。  
これ以上『命令』されたら私があの事件で変えられ  
てしまった体質まで戻されてしまう……。  
それだけは……本当にいや……。

お前の考えることなんて  
分かりきってんだよ  
あの体質、治すの時間かか  
ったろ？w

……っ♡  
お願い、それだけは……っ

初めてあの体質にされた  
ときいっぱい遊んでやっ  
たよなあ

それは……♡

あ……♡

ぬちっ♡

『一生のお願い』だからさ、  
母乳出してよ

ぬちっ♡



やだ……っ♡  
もう治ったから……!!!!♡  
催眠なんかで体質が戻る  
わけ……っ♡

っ!?!♡ひっ♡  
ちがうっ♡♡出ないっ♡  
絶対おっぱい出ないからっ♡

あれは肉体改造と催眠の  
スイッチ合わせてやってる  
んだから治らねーんだよ

『メス豚』いいから  
母乳だして絶頂しろ  
逆らうな!!

の事件の被害者はそれぞれ身体を弄られて特殊な体質に  
あせられていました。色んな実験をされ、母乳が出続ける体  
質にさせられた私は当時絶望して半狂乱になりながら……。  
時間をかけてようやく治したはずなのに今、この乳首に感じ  
る感覚はその絶望を思い出させるには十分で……。

ちがうっ♡

うそっ♡

ぬちっ♡

♡  
♡  
♡

おら出せ!!!  
そうだ!もっただせ!!!  
ザーメンも受ける!



はは元に戻っちゃったねえ  
おらバカみてーに乳出して  
顔射させてやるよw

こんなの圭吾も  
内心どんびきして  
るだろうよw  
同情で一緒にいる  
だけだっ

いっわあ♡

ひゅるるる♡

んっ♡

ひゅるるる♡

んっ♡



そろそろ効くだろう  
『一生のお願い』だから  
夫の前では全部忘れて  
普通に過ごせ

あと、お前はまた俺の  
所有物だから好きな  
ときにやらせろよ？

あ……っ♡♡  
……はい♡  
私はあなたの所有物  
です……♡♡♡

あは♡

これからまたたっぷり  
遊んでやるからな  
圭吾……俺の幼馴染に  
はもったいないわお前

催眠を  
私には  
かき乱  
された  
私には  
催眠を  
防ぎ  
抵抗  
力な  
んて  
あり  
ませ  
ん  
で  
し  
た。  
『命  
令』  
が  
す  
う  
と  
頭  
に  
入  
っ  
て  
き  
て  
何  
も  
か  
も  
普  
通  
に  
な  
っ  
て  
い  
き  
ま  
す。  
こ  
の  
男  
の  
所  
有  
物  
に  
な  
っ  
て  
し  
ま  
う  
最  
後  
の  
瞬  
間  
、  
圭  
吾  
さ  
ん  
に  
会  
い  
た  
く  
な  
っ  
て  
……。

ん♡





一週間経ち、自宅へ帰ると星羅が出迎えてくれる。  
途中電話やメッセージのやりとりはしていたが、  
風邪気味だと聞いていたので少し心配だった。  
ともあれまた2人の生活が再開できて嬉しい。

風邪大丈夫？  
熱とか引いたかな……

ええ、すっかり治りました。  
心配してくれてありがとう  
圭吾さん……。

僕がそばにいたら良かった  
んだけどごめんね。



んっ……♡  
あ、れ……♡  
っ♡ぶっ♡  
♡

だ、大丈夫……？  
やっぱりまだ本調子じゃ  
ないみたいだね  
ほら、部屋で休もうか

そう、みたい……♡  
ごめんね……♡



しばらく話していると星羅の調子がおかしいことに気がつく。こころなしか頬も赤らんでいてまだ風邪の影響が続いているかもしれないと思う。僕は彼女を寝室まで送り届けて……。



いっそ一人で……っ♡  
だめ、そんなこと……っ♡

身体の調子がおかしいのはここ一週間ほどです。  
無性に、その、性欲が高まって……圭吾さんには  
風邪と言いましたが、火照っているだけかもし  
れません。  
久しぶりの圭吾さんの笑顔を見ていたら…今日抱  
いてもらえたら……とばかり考えてしまいました。

どうして……？  
欲求不満なのかしら……っ♡

何か違和感のよなものを感じながら私は寝室で  
休むことになりました。忘れていた気がします。  
何か大事なことが部屋から遠ざかっていくのが無性に寂  
圭吾を覚ます。スマートフォンを見ると知らない男からの着  
信がありました。それを見た瞬間.....っ♡♡

な、にこれ.....あ♡  
思い出した.....私、あいつに  
また.....っ♡くっっ♡♡♡

『一生のお願い』だから  
部屋でオナニーして100回  
イけ.....っ♡ そんなこと  
きるわけない.....のになっ♡

いや、やりたくない.....っ♡  
圭吾、さん助けて.....っ♡  
助け.....っ♡♡♡♡






つづく



催眠のやり直し～私をあの頃に戻さないで～



## あらすじ

かつて集団催眠暴行事件で多くの女性が被害者となった。事件は解決されたが被害者達は心身共に深刻なダメージを受け、10年経った今でも苦しんでいる者も少なくない。

被害者の一人:星羅は長い時間をかけてその後遺症から立ち直り、長年支えてくれた木暮圭吾という青年と結ばれた。新婚生活は順調に続き、暗い記憶はこのまま過去のものになっていくはずだった。

ある日街角で出会ったのは、かつて自分に催眠をかけ徹底的に陵辱した男だった……。











